

錦秋の瑞牆山

山行日 2020年11月7日～8日

参加者 L/M山N、SL/S鈴木K、鈴木M、N村、K藤S、O川、
K地、Y口（記）

行程 （7日）松戸9：00＝みずがき山自然公園キャンプ場13：50

（8日）キャンプ場6：35－富士見平小屋8：15－桃太郎岩8：55－

山頂10：50／11：15－不動滝12：45－キャンプ場14：10＝松戸

21：20

1日目は途中スーパーで買い出し、みずがき自然公園キャンプ場に到着。

ソロテントデビューの人、会テントの人、慣れないテント設営に緊張気味です。

次は、タープも設営し、雨にそなえます。

炭をおこし、したごしらえした地鶏や椎茸を焼き（丸山シェフが）、皆は、お酒をもう飲みながら焼きたてをいただきました。最高の贅沢です！！

夜半は強い雨で低い方に水がしみてきました。チョット、テント泊の厳しさを味わいました。

2日目、雨は上がり快晴となりモルゲンロートの瑞牆山がそそり立っています。ちなみに「瑞牆」とは神社の周囲の垣根のことだそうです。

祈願、怪石の花崗岩の岩峰で奥秩父の山々の宝石箱のようです。

みずがき林道から富士見平小屋までミズナラ、シラカバの静な林をさくさく登ります。

富士見平小屋は閉鎖されていて、テントは5～6

はりありました。ここから岩、岩、岩の急坂となり、桃太郎岩を過ぎた辺りから斜度もきつくクサリ、ロープもあります。



松戸山の会シルバー隊も日頃の足腰の痛みもすっかり忘れて勇敢にアタックです。

一登りしところで、澄んだ空に富士山のシルエットがみえてきました。

岩とシャクナゲのトンネルを夢中で登っていくと突然頂上に着きました。頂上は大勢の人、家族連れ、若者グループ、シルバーはなぜか少ないです。

ここの眺望はすばらしい。金峰山、富士山、南アルプス、八ヶ岳、ふもとの山は紅葉し山ひだが、たおやかに連なっています。

下山は黒森コース、針葉樹の林をどんどん下り、沢近くなると奇岩が出てきて不動滝が現れます。

花崗岩を流れる澄んだ水、水に浮かぶ木の葉が輝いています。丸太の一本橋を渡り、カエデの紅葉が美しいゴールの自然公園に無事到着です。

M山L、鈴木SL、長時間の運転お疲れ様でした。
K地さん、重い会テント準備してくださいましてありがとうございました。
ご一緒に下さいました皆様、ありがとうございました。
いっぱい充電できて明日からがんばれます。

